

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(6月分)について

2023年6月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	6,552,858	94,123	6,962.0%	17,166,331	38.2%
国内旅行	18,084,209	12,942,624	139.7%	11,914,902	151.8%
訪日旅行	348,858	0	—	240,177	145.3%
合 計	24,985,925	13,036,747	191.7%	29,321,410	85.2%

【概況】

6月の営業概況は、総取扱額249億8,592万5千円、2019年度同月比85.2%となりました。海外旅行は、東アジアを中心に国際線の復便が進行していますが、6月の出国日本人数は2019年度比46.2%と前月から横ばいの状況で回復には至っていません。当社では、5月8日の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、各国の政府観光局と連携して商品内容を強化し、アジアや欧州、アメリカを中心に積極的に募集告知を行いました。その結果、韓国、台湾、香港が集客を牽引したほか、欧州においては、スイス、イタリア、フランスの周遊型旅行が活況でした。海外旅行全体の取扱人数は、前月より2割増と伸長し、回復の兆しが見え始めているものの、取扱高は2019年度同月比で38.2%と本格的な回復には至りませんでした。

国内旅行は、全国旅行支援が6月末まで全都道府県で継続実施されたことに加えて、コロナの5類移行により、消費者の外出意欲が高まったことで需要が拡大しました。当社では、グレードの高い宿泊施設の取扱いを増やすなど商品構成を強化し、全国での募集告知を積極的に行いました。その結果、航空機利用のツアーがコロナ前の4割増と大きく伸長したほか、ベストシーズンを迎えた北海道や、九州、四国、東海の集客が伸び、国内旅行の取扱高は、前年度同月比139.7%、2019年度同月比では151.8%となり、大幅に好転しました。

## 株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	2,758,942	1,899,344	145.3%	3,276,800	84.2%
国内旅行	183,512	110,625	165.9%	257,336	71.3%
訪日旅行	0	0	—	2,109	0.0%
合 計	2,942,454	2,009,970	146.4%	3,536,245	83.2%

※前年および2019年度同月取扱高は、阪神ラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2社内取引を相殺したものです。

### 【概況】

6月の営業概況は、総取扱額29億4,245万4千円、前年同月比146.4%、2019年度比では83.2%となりました。

海外旅行は、中国を中心に出張需要が好調に推移し、2019年度同月比84.2%と回復が進みました。

国内旅行は、引き続き出張の取扱いが回復傾向にあり、緩やかに増加しました。企画旅行は、2019年同月比を上回り好転しましたが、全体では、2019年度比71.3%に留まりました。

## グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	9,066,936	1,992,008	455.2%	20,423,030	44.4%
国内旅行	18,241,706	13,027,360	140.0%	12,048,738	151.4%
訪日旅行	348,858	0	—	242,286	144.0%
合 計	27,657,500	15,019,369	184.1%	32,714,054	84.5%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724